

託された。

○参考文献

高橋寿郎, 1998. 兵庫県のタマムシ (1). きべりはむし, 26(1): 13-19.

(Katsuya YAMAMOTO 神戸市須磨区)  
(Masaaki YABE, Kiyotaka YABE 神戸市灘区)  
(Takuro YASUOKA 神戸大学昆虫科学研究室)

ハチ北高原でヨコヤマヒゲナガカミキリを採集

西尾 悠誠

筆者は2007年度、兵庫県立人と自然博物館のセミナー「ユース昆虫研究室」の強化合宿において、ヨコヤマヒゲナガカミキリ *Dolichoprosopus yokoyamai* を採集しているの、ここに報告する。



1 ♀ (写真), 兵庫県美方郡香美町村岡区大笹ハチ北高原小沼付近, 標高 880m, 灯火, 22. VIII. 2007, 筆者採集

本種の成虫は盛夏頃に出現し、ブナに依存するカミキリムシである。そのためブナが自生している地域にのみ生息する。成虫はブナの木に集まる他、灯火にも深夜にかけて主にオスが集まる。本種はブナに依存するカミキリムシで、県下では、氷ノ山、扇ノ山、和佐父溪谷などで得られている(三木 進氏のご教示による)。ハチ北高原には多くはないがブナが自生しているため、採集した個体はハチ北高原に自生しているブナから飛来した可能性が高い。採集した当日の天候は雨、時刻は22時頃だった。末筆ながら、ご教示いただき、報告を勧めていただいた、八木剛氏に深くお礼申し上げます。

(Hisanari NISHIO 神戸市須磨区)

ハラアカコブカミキリの姫路市安富町からの記録

岡田 浩資

ハラアカコブカミキリ *Moechotypa diphysis* (Pascoe, 1871) を姫路市内で確認したので報告する。同市安富町瀬川にある会社・敷地内のホダ木置き場で、2009年3月30日、従業員の喜多村吉孝氏が1頭採集された。氏によると「ホダ木置き場の土場を歩いていたところを拾い上げた」とのこと。近畿及び中国地方から集められたホダ木が置いてあり、本個体は偶然ホダ木について来たものと推測される。以来、2010年2月1日現在、追加個体は発見できていない。ホダ木の重要な害虫だけに、今後も継続して調査する。

「兵庫県のカミキリムシ(2001)」によると、1960年代に伊丹市で多数採集されて以来、県内では記録の発表がないとのこと。また、三木進氏の私信によると、故高橋寿郎氏の未発表のカミキリ目録には、「伊丹市大鹿宮武, 1968」の記録があるだけという。

偶産種としても貴重な個体を快くお譲り頂いた喜多村氏にお礼申し上げる。

○参考文献

廣田嘉正・三木三徳・八木正道, 2001. 兵庫県のカミキリムシ. 104pp.

(Koji OKADA 兵庫県姫路市安富町)

セダカコブヤハズカミキリの低地での採集例

矢部 正明・矢部 清隆

セダカコブヤハズカミキリ *Parechthistatus gibber gibber* (Bates, 1873) は、神戸市灘区・摩耶山が基産地の一つだが、その近くの六甲山麓、住吉川中流の登山道にて2頭の♀を採集したので報告する。

1 ♀, 兵庫県神戸市東灘区の六甲山登山道(住吉台から住吉道・石切道へ向かう登山口付近), 3. V. 2007, 矢部正明採集

1 ♀, 兵庫県神戸市東灘区の六甲山登山道(住吉台から住吉道・石切道へ向かう登山口付近), 3. V. 2007, 矢部清隆採集

初夏の昼過ぎ、多くの六甲登山者が行きかう山道の路上でまず♀1頭、しばらく歩いてまたもう♀一頭を採集した。いずれも標高では250mに過ぎず、高台の住宅地(住吉台)にも近いところである。コブヤハズカミキリ類の分子系統を研究されている中峰 空氏の話によると、摩耶山の頂上付近など六甲山系では標高がやや高いところ(600m以上)で採集される傾向があるようだが、このような低い標高のところでは珍しいとのことであったので、報告させていただいた。

(Masaaki YABE・Kiyotaka YABE 神戸市灘区)